九州建設情報社

熊本県「令和８年度優良工事等表彰」
工事２２件（企業２１社、技術者３５人）が受賞

熊本県は７月３０日、令和８年度優良工事等表彰（熊本県知事表彰）の受賞者を公表した。令和７年度完成工事で工事成績評定を受けた約２４００件の中から２２件（企業２１社、技術者３５人）を選定。企業２１社のうち、２社は複数工事で受賞。今回は、７月２８日に発生した地震の状況を踏まえて表彰式は中止となった。

熊本県では、平成１８年度に優良工事等表彰制度を創設。優良工事を施工した建設業者（県内業者のみで構成された特定建設工事共同企業体を含む）並びに同工事の現場代理人及び主任（監理）技術者を対象に、県内業者（企業体を含む）が前年度に完成した請負金額２５０万円を超える工事で、工事成績評定点が８０点以上（工事特性、創意工夫、法令遵守等を除く各細目別評定点がすべてｂ評価点以上）の工事を表彰している。

優良工事は、土木一式工事、建築一式工事、電気工事・管工事、舗装工事、その他の工事の５部門。部門ごとの表彰件数は、発注金額、発注件数等を参考に決定し、表彰件数の総数２０件程度。今回は、土木一式工事１１社、建築一式工事１ＪＶ、電気工事・管工事１社、舗装工事４社、その他工事部門５社が受賞した。

また、優良工事表彰に係る許可業種ごとの工事成績評定平均点（令和７年度しゅん工対象）も公表。土木一式工事は７９点、建築一式工事は７８点、電気工事は８０点、管工事は７９点と前年度と同じ。舗装工事は８０点と１ポイント上昇した。機械機器設備工事は７９点と２ポイント低下した。

①令和８年度（２０２６年度）熊本県優良工事等表彰　被表彰者一覧表
②令和８年度優良工事表彰に係る許可業種ごとの平均点（令和７年度しゅん工対象）